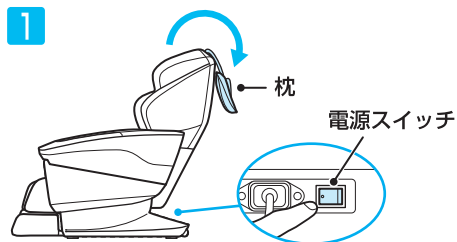


AS-R2300 カンタン操作ガイド

1 本体後側の下部にある電源スイッチを「ON」にし、枕を後ろに回して座る。

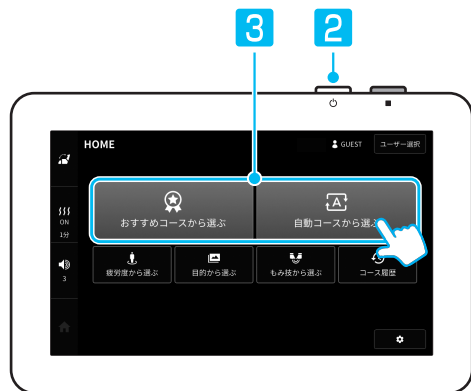


2 リモコンの「電源ボタン」を押して、電源を入れる。

- 自動で背もたれが倒れ、脚部が上がります。
- ホーム画面が表示されます。

3 「おすすめコースから選ぶ」または「自動コースから選ぶ」を押し、さらにお好みのコース名を押す。
肩位置及び背筋ラインを検出するので、深く腰掛けて、頭を背もたれに付けるようにもたれる。

- 肩位置及び背筋ラインを検出しないコースもあります。



※画面はタッチパネルになっています。指で押す（タップ）やスクロールして操作してください。

4 検出完了後、「コース開始」を押すと、マッサージが始まる。

自動コースの選択のしかた

例：「自動コース」→「全身」を選ぶ場合



「全身」を押します。



お好みのコースを選んでください。スクロールすることで、下側に隠れているコース名が表示されます。



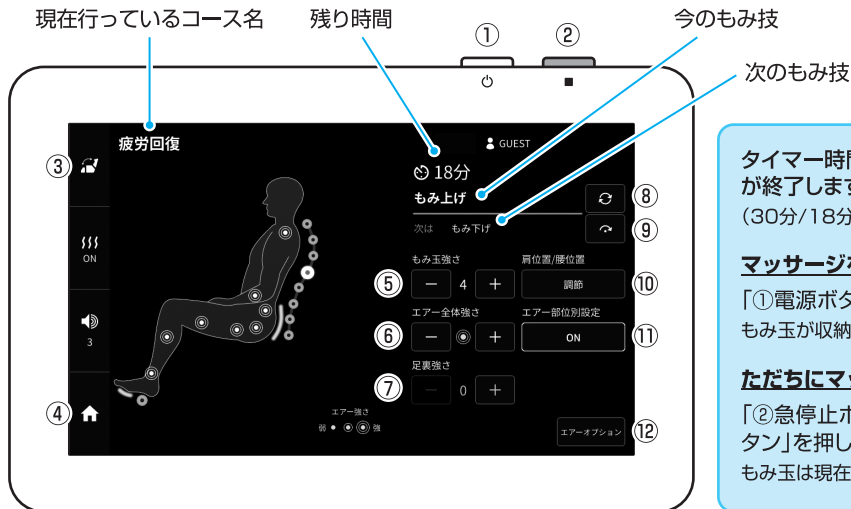
肩位置や背筋ラインの検出（AIダブルセンシング）が始まります。

おすすめコース、自動コース一覧

おすすめ	全身	部位		ストレッチ	
		首/肩/背	腰/尻/脚	全身	部位
スタンダードハード	VIP ソムリエ ナイトヒーリング 極疲労回復 疲労回復 リフレッシュ やすらぎ ソフト クイック	首肩極疲労回復 首肩疲労回復 首肩リフレッシュ 首肩やすらぎ 首集中 肩集中 肩甲骨集中 背体幹ほぐし	腰極疲労回復 腰疲労回復 腰リフレッシュ 腰やすらぎ 腰集中 腰体幹ほぐし 座骨集中 脚集中	コンディショニング マインドフルネス 極全身ストレッチ 全身ストレッチ 全身エア テクニカルストレッチ	首ストレッチ 肩ストレッチ 背ストレッチ 腰ストレッチ 骨盤コアストレッチ 脚/膝ストレッチ そらしストレッチ

※自動コース中の細かな調節は裏面をご覧ください

コース中の調節について



タイマー時間が経過すると、マッサージが終了します。
(30分/18分/7分 ※コースにより異なる)

マッサージを途中で終了したいとき

「①電源ボタン」を押してください。
もみ玉が収納位置まで移動し、終了します。

ただちにマッサージを停止したいとき

「②急停止ボタン」または「④ホームボタン」を押してください。
もみ玉は現在の位置ですぐに停止します。

- ①電源ボタン
- ②急停止ボタン
- ③リクライニング角度の調節画面が表示されます。
- ④ホーム画面が表示されます。
- ⑤もみ玉マッサージの強さを調節します。(7段階または12段階。※コースにより異なる)

- ⑥エアーマッサージ全体の強さを一括調節します。(7段階)
- ⑦足裏ローラーマッサージの強さを調節します。(3段階)
- ⑧今のもみ技を繰り返します。
- ⑨次のもみ技に進みます。
- ⑩肩位置・腰位置(上下)を調節します。

- ⑪エアーマッサージの強さを部位別に調節します。
- ⑫エアーマッサージのオプション動作を選択します。

※選択しているコースによって調節・設定できない項目があります。

ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

⚠ 警告

- (1) 使用前には、必ずマッサージ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。破れがあった場合は、小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。また、カバーを外した状態で使用しないこと。
- (2) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- (3) アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- (4) 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- (5) マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- (6) 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- (7) 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服(ズボンなど)のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- (8) 手や腕をマッサージするときは、つけ爪・時計・指輪・プレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- (9) 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓[そく(塞)栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- (10) 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師と相談のうえ、使用する。(詳しくは取扱説明書を参照)
- (11) ご自分で意思表示ができない人、または操作できない人には使用させない。また、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人に単独で使わせない。
- (12) お子様には使用させない。お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。また、幼児を近づけない。
- (13) リクライニングするときは、必ず周囲(本体の後部、前部、側部、下部など)に人やペット、物が当たらないことを確認する。
- (14) ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間触れるような使い方をしない。
- (15) 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。